

高度外国人材の横のつながりから、
優秀な人材とビジネスチャンスが集まってくる。

CASE
06

COMPANY

株式会社エム・エス・アイ



企業概要

- 企業名:株式会社エム・エス・アイ
- 所在地:山形県山形市松栄1丁目5番7号
- 設立年:1992年
- 資本金:2,000万円
- 従業員数:73名
うち高度外国人材6名
- 国籍内訳:モンゴル4名、中国1名、韓国1名
- 業種:情報サービス業
- ホームページ:<https://msi-net.co.jp>

事業内容

創業以来、山形県・東北地域に根を張り、販売管理・生産管理・地方自治体向けなど、各業種・業務のシステム開発・サポート・コンサルテーション、また、各種ハードウェア・ソフトウェアの取り扱い・販売を手がける。

企業インタビュー



代表取締役社長
金子 昌弘 氏

高度外国人材を受け入れたきっかけ・背景

生産年齢人口が減る中、地方で優秀な人材を雇用するため

今、株式会社エム・エス・アイ、オータス株式会社、株式会社IHCの3社を経営しています。全社員の1割強にあたる12人が、外国人社員です。初めて高度外国人材を採用したのは15年前、山形大学の台湾人留学生でした。少子高齢化が進み、生産年齢人口が減っていくと、それだけでなくエンジニアの不足が続くIT業界では、地方の中小企業ほど採用難に陥ると考え、策を講じたというわけです。

高度外国人材受け入れに当たっての取組内容

外国人と働く意義を説明して、日本人社員を納得させた

15年前、初めて高度外国人材を採用するに当たり、幹部社員からは「採用するなら日本人がいい」という声が上がりました。言葉が通じることが分からない異国の人が入社してくるとなれば、身構えてしまうのも無理もないでしょう。しかし、わが社にはなぜ外国人材が必要なのかをきちんと説明して、みんなを納得させました。いざ入社してくると、すんなり受け入れていましたね。

高度外国人材採用に当たっての課題と解決策

一人の外国人社員からどんどん縁が広がっていく

今のところ、高度外国人材の採用に課題はないです。それは、留学生たちの横のつながりで紹介された人たちを採用しているからかもしれません。例えば、顧問会計士の事務所に勤めているモンゴル人に、「新モンゴル高校のときの同級生が、日本で仕事を探しているの、採用してもらえませんか」と相談されたのがきっかけで、一人目のモンゴル人を雇用しました。すると今後は、そのモンゴル人社員が、「高校の同級生が就

活中で、AIに詳しいから採用してもらえないか」と言うわけです。ちょうどAI事業への参入を計画していたので、採用することにしました。このように、次から次へと縁が広がり、優秀な人材を獲得できています。高度外国人材は、必ずしも都会の大手企業にこだわらないので、わが社のような地方の中小企業にも、採用のチャンスがあるのです。

高度外国人材定着に当たっての課題と解決策

長く勤めてもらえなくても、次のビジネスにつながるかも

経営者仲間で一番話題になるのは、高度外国人材の定着についてです。いずれ母国に帰るのだろう、何年くらい勤めてくれるのだとよく聞かれます。その気がかりは分かりますが、考えるのは不毛です。それよりも、わが社は仕事のやりがいや居心地の良さを感じてもらえるかを気にしたほうがいいと思います。楽しく働きがいのある会社なら、長く勤めてもらえるかもしれませんからね。

とはいっても、私は、高度外国人材は帰国するものだと思っています。生まれ育った国が一番いいはずだから、それでいいのです。それに、退社したあとも縁は続きます。実際、モンゴルに帰国してIT会社を起業した元社員には、当社のウランバートル駐在員事務所の所長を兼任してもらっています。また、その縁が、新しいビジネスにつながることもあります。

高度外国人材活用による成果・変化

日本人社員が刺激を受けて、社内が活性化した!

高度外国人材を受け入れる前、将来的な採用難のほかにも気がかりがありました。若手社員たちが、安定志向のあまり内向きで、チャレンジ精神に欠けていたのです。この意欲の喪失が、企業の停滞、引いては日本経済の衰退の一因になると、私は考えています。そこで、高度外国人材のもたらすインパクトに期待したのです。国を超え、言葉や文化、宗教の壁を乗り越え、日本で働きたいという人たちは、得てしてモチベーショ

ンが高く、チャレンジ精神が旺盛だからです。

外国人社員たちの仕事ぶりは、日本人社員たちをおおいに刺激しました。日本人が驚くほど流暢な日本語を話し、深い専門知識とITスキルを駆使して、成果を上げていく姿に影響された社員たちが、前向きに頑張るようになって、社内が活性化しましたね。

高度外国人材社員インタビュー

INTERVIEW

リーダーとしての資質も 伸ばしていきたいです。

アマルバヤル オリギル 氏

国籍:モンゴル 2021年入社



入社理由

小・中学校と大学・大学院を東京で過ごし、日本での就職を考えていました。ちょうど就活中、高校時代の親友が「勤務先の会社がAI事業を立ち上げるから、一緒に働かないか」と誘ってくれたのです。私は画像処理系の研究をしていてAI技術に興味がありました。経験不足は不安でしたが、研修などの手厚いサポートがあると聞き、思いきって面接を受けてみました。

業務内容

システムエンジニアとして、主にWEBアプリケーションの設計、開発を担当しています。システム開発には、要件定義という工程があります。プロジェクトの成否を握る重要な作業で、お客様の課題や要望などをヒアリングして、システムに求めるものを明確にするのです。この工程から、アプリケーションに組み込むAI機能の開発まで、幅広く任されています。

東北地域で働く理由・良さ

東北地域には、出身校である新モンゴル高校の関係者が多く、何度か足を運び、縁を感じていました。東京と比較すると、東北地域は、都会のせわしなさがなく、心が穏やかでいられることが一番の良さだと思います。当社の食堂は窓が非常に大きく、山がよく見えるのですが、仕事で疲れたとき、目の前に広がる豊かな自然を感じることでリラックスできます。

今後のキャリアプラン

出向先のオータスで、ガスメーター管理AIシステムの製品化にこぎ着けました。今は、介護記録用AIシステムの開発に取り組んでいます。経験を積み、ユーザーのあらゆるニーズに応えられるシステムをつくれるになりたいです。プロジェクトをスムーズに正しく推進するためにも、コミュニケーション力など、リーダーとしての資質を伸ばすよう努めています。